

秋山郷のサステイナブルな山の暮らしにフォーカス！

～マタギ、木鉢職人、山菜、キノコ、保存食など～

地元食材を使った料理をいただき、マタギ、地元民、研究者が語る、豊かな山の暮らしとは。



苗場山と小赤沢集落

日時 2024. **2.3** SAT

12:30～15:00 (開場12:00)

場所 **銀座NAGANO**

東京都中央区銀座5丁目6-5

参加費 **3,000円**

料理、ドリンク付き

定員 **24名** (先着申込順)

セミナー

社会のグローバル化とサプライチェーンの進展で、我々は世界中から様々な物を享受できるようになりました。その一方で、新型コロナウイルス感染症の蔓延や紛争の発生などにより、そのシステムは脆弱で不安定であることもわかってきました。

そこで、自然と向き合って暮らす「秋山郷」の、サステイナブルな「山の暮らし」にフォーカスしたセミナーを、地元食材を使った料理をいただきながら開催します。

◆秘境「秋山郷」の紹介

◆講師自己紹介

◆クロストーク「豊かな山の暮らしとは」

講師	白水 智 氏	(中央学院大学教授/地域史料保全有志の会)
	井上 卓哉 氏	(静岡県富士山世界遺産センター学芸課 准教授)
	福原 和人 氏	(小赤沢民宿出口屋・マタギ)
	福原 とも子 氏	(栄村役場秋山郷総合センター「とねんぼ」職員)

申し込み **銀座NAGANO** ホームページ ※申込締切 1月31日 (水)

問い合わせ

栄村役場商工観光課

TEL 0269-87-3355



「秋山郷」とは・・・

長野県栄村と新潟県津南町を流れる中津川溪谷に点在する集落で、日本の秘境100選に選ばれています。

ここは、日本有数の豪雪地帯であるとともに、近くには、日本百名山のひとつ「苗場山」がそびえ、頂上付近は、広大な高層湿原と約3,000箇所におよぶ池塘（ちとう）が点在する高山植物の宝庫となっています。

また、マタギと呼ばれる狩猟民たちが、昔からの儀礼や作法を守り、集団で熊猟などを行いながら、山への信仰を強く持ち、自然とともに暮らしてきた地域です。



わらび



栃の実



ふきのとう

講師紹介

しろうず さとし 白水 智 氏

中央学院大学教授/地域史料保全有志の会

神奈川県生まれ。これまで日本史の中では後進的な生活を営む地域と考えられ、注目されてこなかった山村地域の生活文化や支配のモチ、研究している。秋山郷には25年ほど調査に通い、江戸時代の古文書を中心に山村の実態を調べ、その知恵や技術の高さ、そして山の豊かさに大きな刺激を受けてきた。著作に『知られざる日本-山村の語る歴史世界-』『古文書はいかに歴史を描くのか-フィールドワークがつなぐ過去と未来-』（ともにNHKブックス）、『山村は災害をどう乗り越えてきたか』（小ざ子社）など。



いのうえ たくや 井上 卓哉 氏

静岡県富士山世界遺産センター
学芸課 准教授

兵庫県生まれ。富士山かぐや姫ミュージアム（富士市）学芸員、富士市文化振興課を経て、令和4年から現職。専攻は文化人類学・民俗学。研究テーマは山村の生業からみる山地資源の利用で、平成9年から秋山郷に足繁く通い、山菜・キノコ採集や木鉢製作などの技術について教えを乞う。静岡県富士山世界遺産センターでは、富士山周辺の生業や、日本の象徴としての富士山の姿などを研究テーマとする。著作に『信州秋山郷 木鉢の民俗』（川辺書林）、『ステレオ写真で眺める明治日本』（古今書院）、訳書に『富士山信仰と表象の文化史』（バイロン・エアハート著"Mount Fuji: Icon of Japan"、慶應義塾大学出版会）など。



ふくはら かずひと 福原 和人 氏

小赤沢民宿 出口屋
マタギ

長野県栄村秋山郷生まれ秋山郷育ち、六代目の現役マタギ。ご先祖は、マタギの本場である秋田の阿仁出身。秋山郷にやって来て、そのまま住み着いたとのこと。「獲物は山の神様からの授かりもの」という感謝の気持ちを大切に、掟を守りながら狩猟に出かけている。また、日本百名山である苗場山の登山ガイドのほか、かつては村の村議会議員の議長を務めるなど、地域の振興活動に積極的に取り組まれている。経営している民宿「出口屋」のキャッチフレーズは、「クマの話とおいしい水」。「出口屋」の名の由来は、敷地内に大きな泉（水の出口）があるから。



ふくはら ともこ 福原 とも子 氏

栄村役場
秋山郷総合センター「とねんぼ」職員

長野県栄村秋山郷生まれ秋山郷育ち。聴覚障害の母を持つこともあり、お婆ちゃん子にて方言が強い。幼い頃から年齢問わず秋山の方々と接し、色々と教えを請い聞きしてきたことから、「地元にて自分でも役に立てることを。」と思い結婚後3人の子育てをしながら、「げたばきヘルパー」と掛け持ちで、観光案内所に勤務し、その後秋山郷観光協会事務員を経て、現職。研究者をはじめ、秋山と関係を持つ人にとって頼れる存在となっている。



鳥甲山 (とりかぶとやま)